

事業案内



輸出入事業

近年、中国を中心としたアジア地域の成長に伴い再生可能資源の需要が海外において高まる中、国内の余剰分を輸出すべく各地区の港にヤードを開設し業務を展開しております。



製鋼原料事業

製鋼原料事業

建物・船・車などの使用済み鉄製品を集荷し選別の後、加工処理設備（ギロチン・プレス等）で切断、圧縮し国内の製鋼メーカーに製鋼原料として安定供給しております。
今後も90年の鉄リサイクル実績を通じて循環型社会に貢献して参ります。

荒銑事業

高炉メーカー発生の転炉滓を破碎・磁選し荒銑（あらせん）と呼ばれる製品に仕上げます。Fe分が含まれる荒銑は鉄鋼原料として高炉メーカーに出荷されております。



鉄リサイクルの流れ



- ① 建物、船、車等の鉄鋼製品はいつか老朽化し、廃棄され、鉄スクラップが発生します。
- ② 発生した鉄スクラップを収集します。
- ③ 大きさや種類によって選別します。
- ④ 製鋼メーカーが原料として使いやすいように切断（ギロチン加工）、圧縮（プレス加工）等の加工を行います。
- ⑤ 製鋼原料として製鋼メーカーに出荷され、鉄の原料として使用されます。

製鋼メーカーで出来上がった一次製品は母材とも言われ、各産業で製品の原料として使用され、建物、船、車等の鉄鋼製品が作られます。その中で弊社は、鉄スクラップの収集から選別、加工、製鋼メーカーへの出荷（②～⑤）までを担っています。



鋼材・切板事業

水島営業所では、建築、造船、自動車、橋梁、建設機械、産業機械用等、幅広い業界へ鉄板切り板の提供を行っております。

工場内には、プラズマ切断機、ガス切断機、穴あけ機等の加工機械を駆使し、CADデータをベースとしたシステムを最大限に発揮して、お客様からの要望に応じております。



材 質							
板厚	SS400	SM490A	SN400B	SN490B	SN490C	TMCP325B	TMCP325C
6	○	○	○	○			
9	○	○	○	○			
12	○	○	○	○			
14	○	○					
16	○	○	○	○	○		
19	○	○	○	○	○		
22	○	○	○	○	○		
25	○	○	○	○	○		
28	○	○	○	○	○		
30	○						
32	○	○	○	○	○		
35							
36	○	○	○	○			
38	○	○					
40	○	○	○	○			
45	○	○	○	○		○	○
50	○	○		○			○
55	○					○	○
60	○						○
65	○						
70	○						
75							
80	○						
90	○						
100	○						
110	○						
120	○						

〔取扱メーカー〕

新日鐵住金株式会社、J F E スチール株式会社、株式会社神戸製鋼所、東京製鐵株式会社、中部鋼板株式会社

※各メーカー、ミルシート及び切断証明発行致します。

※在庫状況によってはご対応出来ない場合があります。

※全て日本国産の材料です。

経営理念

〔経営理念〕

資源の枯渇、資源採掘による自然破壊、二酸化炭素排出による地球温暖化等が問題視される中、弊社のリサイクルを通じて、未来を創る静脈産業としての使命を全うします。また、循環型社会の形成を目指すべく動脈産業との連携を強化し、天然資源の使用抑制に役立てることで、持続可能な社会への架け橋をつくる企業として、「凡事徹底」「不易流行」の経営を実践し社会貢献してまいります。

〔アイデンティティー〕

弊社は1927年に創業し90年間「堅実経営」を土台に、国内製鋼メーカーに製鋼原料を安定供給すべく全国各地にリサイクル集荷網を構築してまいりました。

今後、業種・エリアの垣根を越えたりサイクルビジネスの未来と可能性を推進すべく積極的に挑戦してゆきます。

Challenge 200

創業100周年はあくまでも通過点。

その先の**200周年**に向けて、

3つのChallengeを掲げ、邁進してまいります。

Challenge ▶ **1.** 取扱量増大

Challenge ▶ **2.** 総合リサイクル事業強化

Challenge ▶ **3.** 海外事業展開

環境方針

エコロジー、それは私たち人間と自然の共存を意味します。高度成長を追求するあまり、私たち人間社会の文明はもっとも大切な「自然との共生」という普遍的テーマを置き去りにしてきました。リサイクルという、とてつもなく大きな意義あるこの事業は資源の乱獲を少しでも防ぎ、自然を保護する事業でもあるのです。いま私たちは次世代のリサイクル・プロジェクトに向けて、決意を新たにしています。

地球を汚さない 地下資源を浪費しない 地球を傷つけない

この言葉をモットーに、職場の仲間同志がリサイクル事業を通して社会に貢献することを誇りにし、次世代の中核事業に育つ日を夢見て、ロマンとビジョンを語り合える企業集団でありたいと、私たちは願っております。

〔鉄スクラップ循環サイクル〕

